

キ ヤ 2 プ 地 Ø 選 定

踏査を行 関係団 無理のない計画を立てます。 参加者の性別 + ヤ 体 2 なって選定してくださ の指定するもの 7° 地 0) 選定 , 体力、 は、 の中から実地 経験に応じ 21 0 to

などの打合せをします。 知識、 準備会を開き、 諸注意を与え携行品、 キヤンプ に 役割分担

3

2

4 0 連絡は キャンプ地の教育委員会警察など ぜひ してください 0 ~

サイクリングには準備会を

- 1 コ 5 ように ースを選定し、 参加者の性別、 体力、 無理な計画を立てな 経験に応じて
- 勾配、 調査します。 実施踏査を行ない 路面の状態 などについてない、道路巾、 C く交通量
- 3 ないます。 諸注意を与え、 2 準備会を開き、 自転車 サ 1 Ó 2 整 IJ 霊備点検を行
- しよう。 地元の警察署との連絡をしておきま

と。常に最悪の場合を考慮した計画をたとにかく、リーダーの指示に絶対従うこ以上のことは、ぜひ必要なことですが、

てましよう。

自 然 K 親 Z ま よ 5

郷の念に似たなつか-それは丁度人間の心の 潮の香。 育 暖 ŋ の念を感じさせずにはおかな い 人間の父や母のようなものば 、です。 海 3 か 遠 、み続けて、 6 5 愛情と強い 遠 どの 似たなつかしさと愛着 Vi 川のせせらぎ、 昔 きた大自然 カン 一つをとっ 5 叱責に わ n 緑の丘 ても、 よって わ n 青 な か 5

からでし る筈 0 1t らでしようか。 あまり多いとはい 大自然のよさをよく知 老いも若きも男も女も なのに、 自然に親し えません。 む機会 皆こ

規律ある行動の中で、 各自が

> であることも今さらいれます。まだ人間理解らいたいものの一つか ものや、 たちにとって、 そして余暇の善用を知ら ことは、楽し 責任をも あり ません わ れ 健康のすぐれ ちながら体験して行く 0 活動の場を失った 間理解のよき場 ーつか ぜひ体験しても 2 かと考えら ts 5 までも ない 5 者、 人

横山海岸キヤン 写真は宮崎の岬を望んでの 横山海岸の平安ばや 県指定キャン ブ場ふ 一プロロ L カン 付申 い請 N

毎月10日事故をなくする日 子供達を交通事故から守りましよう

(2) 広報にゅうぜん 第二回目の講習会がもたれ れましたが、こんど次の 3面積 狩猟予定者は最寄りの会場で受 た狩猟講習会は、さきころ七月 ◆公団分収造林契約締結の \diamond わ 柚 請正 2契約土地 政一般質問に入 板 第10回定例議会 看 目的 顧1、 立 本年度狩猟予定者を対象とし 町税条例一部改正の件 れました。 の作 木議員の質疑など活発に行な Ŧī. 狩猟 など5議案、 四二·七八四四ha 陳情1 \bigcirc 八 公団分收造林 八月二三日 分収造林 れ 長の諸般の報告がなさ た。 で、 午后一 沢町長の挨拶、 定例会が開催されまし 月二二日 < -一二~一七時三の分 免許講習 七月二十 年 5議案、1報告可決町税条例の一部改 02 ださい こんど次の要領で 字長尾谷3外3筆 主なる議案は 開会に先だち、 第10回入善町議会 り を審議の後、 時から役場議場 後 、一六時 宇奈月町役場 0 0) 柏原 一日 (土) 会 Щ 開催さ 岩田議 ます 0 件 中易 0) 町 米 あ 夢 んな 本県に一 生業資金のご活用を なました引号、 Ø 本県に一〇〇万円の枠が割当て融公庫で貸付することになり、 資金貸付は、 5主伐期 . 0 9 いました可揚者国債担保の生業 . 8費用負担区分 4 6 植栽期間 目的 金額 契約方法 締結に 項につい 会が開 記と 協議により年度実施計画策定担。管理計画調査費は束者の造林事業直接費は全額公団負 団 40 % 月二五日 青木保育所新築工事請負契約 その他撫育、 収益分収の割合 存続期間 競技種目 期 日 会 場 務方法書に準拠する の都度決定 契約 富 のし 八月 い 総曲輪 道 19日 8 月 18 小 ス 5. Щ 弓 道 + 18, 19 錬 成 館 ケージュルで第十富山市はじめ九市 関する件 催されます 三六五万円 青木保育所新築工事 入善町60% 植栽後46年次以降 体 八日から二十日 県民体育大 ては森林開発公団 19 操 18, 県立富山女 ts 2 朝日 ~ ~ 37年度から40年度 本年度より 指名競争入札 契約日~向後50年 富山県庁 18. 富山中部高 ホ 7 F 19 -2日の三日間富山市を中心に 管理等の契約条 ど ユ 町公民舘 18, フエ 19 シンク 芝 園 中 N · 二 六 時 森林 20 警察射擊場 ピス トル射撃 本町 第 0 水 泳 12 高岡プー 国民金 ル 開発公 町からも下記の方が下十五回富山県民体育大中町会場において、左日までの三日間を中心 ボ 7 51 ンク 18, 19 高岡工芸高 業 会近 レス IJ 18, 滑川高校 2 7 19 あげ 重 量 12, 18 11 このたび、農家に委託管理されに飼育されていた種牡の山羊がこれまで東部家畜保健衛生所 羊の種付 ることになりました。それで山 揚者の方は活用してくださ になりました。 ٠ ●三七年度国保会計第一回追加 1 お 次の農家で管理をし、 所ではできなくなりましたから . . ◇寄附採納の件 ◇公平委員会の委員の選任同意 ٠ . . ラ 7 19, 20 大沢野射場 N 千円 ビク 竣工期日 0 写真引仲機(二万七千円) (三万二千五百円) 千五百円)理科室用椅子50脚 理科室用大型机7個(四万五儀式用漆塗角盆2四千四百円 屋型天幕1張一万六百円 池原啓三(朝日町平柳・ 相手方 ŋ 消防器具置場 西川 小摺戸小学校父母と先生の づ (小摺戸 何們 (入善町中央公民舘備品) 7 射撃 V 19 ぼす Щ 11 7 小杉高校 信吉(青木) ハン ボ 18~20 羊 Ű. 1 からお 1 は、 ラ 7 ビ 砺波 高校 Ø 11 伊林組 • 小学校備品) 小堀吉松 馬 10 月 30 日 種 上市高校 ステレオ(10万円) 術 19 西島 東部家畜保健衛生 竹内愼一郎・入膳 登 3 付〇 資金の入要な引 知ら 山 18~20 魚津毛勝山 写真は三五年 新 川郡代表として参加 " 22 出場 ŀ 7. 越 0 者 潟 栄作・ っせします。 上原分団 伊林慶重 池原米次郎 県営競技場一般男子(4) (町新屋) 陸 上 技 種付して 竸 18~20 教員(7)青年(2) 再 肖 自 6. 転 車 19 富山競輪場 0 崎 会 野 球 の十三回富山国体 (軟) 5~13 県営野球場 舟見ク 77 18, 19 トボール 南部 中学呉紡チーム 0 と区別 ることがわかりました。そこは 本で冬を越しているッバメがいすが昭和の始め頃からずっと日 まし てしまうものだと考えられて くなれば遠くインド のツバメの足を見て下さ ませんか。 0 名湖で越冬したッパ 管をつけたので の珍しい越冬ツバメの生態を調 吉さんの家です。静岡県ではこ静岡県の浜名湖にある河合八重 ルミの足輪をつけていません • 平型 ピア 政課 いるも いるツ べるのに協力しています。 軟 式 庭球 18~20 富山庭球場 実は、 そこで、 書 五万円)木琴(が お宅に 水銀灯設置に伴う助成方陳情 全日自労入善分会執行委員長 に 一般失業対策事業の廃止反対 オン(ト 台(四万三千円)アコーデイ お願 浜名湖のツバメ (紹介議員 庭卓 L た。 球 ついての請願書 19, 20 県営コー お まで ます。 するために、 入膳14区、 野小ピア 球 ŋ 15 5 のがあったら、 18, 19 富山体育館 ·般女子 2名 ッ ッバメが巣をかけて 連絡 メでア ましたら、 L しかしそのうち バド ミシトン ·般男子 もしきておれば、 18~20 興人パル 4名 バ ンボ)1 ノ、(河合) よそから来るッバ た 0 × 青木青級+-へ 呉紡女子+-ム いこと 排 球 11~13 富大コート ハッパメなのです。 かたら、それは浜 かえ管をつけて 柏原、 陸 て欲 は渡り鳥で、 15区代表 Э E 準備委員会 籠 球 18~20 富山商業 一競技場 足にア こはこのツ 台一二千円 の方へ行 L 静岡県庁 蹴 球 25~27 富山中部高入 高 O B 柚木) Ц 6. 相 撲 18, 19 少れてでした。 ギノ 台 小杉高校 0 柔 道 で N 18、19 富山 高校 5 名 2

そい

第三種郵便物認可

E 1

、す 林 15 昭和37年8月10日発行

昭和27年8月10日発行 第三種郵便物認可

稲

の適期刈取りと

\$

乾

燥

調

製

包

装

や、食べ味が落ちます。の質がもろくなって玄米の色沢米や茶米が急激にふえるし、米穂切れや落穂が多くなり、胴割 せ穂地際いの域に n を遅れることになり、 で待っていると、 応標 の着粒部は T 従っ 域、 稲 いに成熟す は品種 川 準 0 適 て全部 取 土壤 11 が 期 示 り作業に困難とな 取刈 位などによっ 0 3 0 5 取 の粒が ち n るとは限りません 肥沃度や稲 適 () が T 期 より、

稲株が乱

刈取りの適期 NK い ます 完熟するま や 0 5 の色、 栽培 T. 早刈 かい T • 12 b 1 0 実 -



配されま よりは、 生では 混入 や青 を行なう ŋ でし 方が 早 す と青 とくに早 遅 刘 から よようい して れ りの は 米 • 米の ろ XII がや ŋ

> 1 -0 K

家畜は一般に暑さに対して

して家畜のもっている能力を低畜舎内を凉しくするよう、工夫抵抗性が弱いので、できるだけ

2

夏は

体力の消耗がひどい

0

下させないようにします。

Ł 0 に着手しても、 で注 胴 意してくたさ 割 「米の発 生が い の 多 く 出

易

1.

ださ 計画的に進めるよう注意してく で、収穫期の農作業の全般を、の品種は刈り遅れになり易いの や農作業の関係で中手や、 着手しても、そのあとの天候とかく早生の刈り始めは適期 1. 0 晩手 0

水分は玄米で一四 乾燥に 乾燥調製 は、 2 仕上り 一五%とな 籾 0

るため攪伴を十分行なうことで については、急激な乾燥を避け 籾干しを行なう地帯の特に早生 湿度などを考えて、 日数で決めないで、天候、温度で乾燥は過去の経驗による乾燥 るように す。 ならないよう注意すると共に、 残暑の季節になることが するように注意 早生栽培では、 除々に してく むらな 登熟期が丁度 乾き過ぎに たさ 多 <: 乾 Vi 13 0

規定回転数以上にならないようできるのを防ぐため、脱穀機は脱穀のときには、籾の損傷が われないで、砕米、はだずにし、籾摺は脱稃率のみに規定回転数以上にならない **籾摺は脱稃率のみにとら** はだず n

0 家 畜 管

盛

夏

要です。 るように工夫していくことが肝 法などに注意 して十分食べさ +

で十分 ては、

注

意し

てく

いださい。

とく

六月のッユの時期につい

一今月は、

つぎのことに留意し

5

ただきたい

と思います。

す

が

家畜飼養管理全般につ

41

Ĵ

n

から暑い

日

が

続くわけで

(なま)物ですから、 4 よう努めてください 特に蚊や蝿の発生源をなく ですから、 3 生産物 生産されている乳、 昆虫類の活 環境衛生に留意し、 の特性をよく理解 動 が活発な時 その取 0 卵は生 扱 する 切 L 5

5 するように作業を進めることがら、冬期間の給与量だけは確保5 干草調製のよいときですか ていただきたいものです。 5. も商品価値が低下してきますかに注意しないと、折角の生産物

期で食慾が減退してくるときでいようにします。また一暑い時に十分注意し栄養を低下させなで、与える飼料については配合

す

か

.0.

飼

料の調

理

給与の

大切です。

(3)1 されて、 たので、 るので 位 して、 う法律 K その法律の 5 Ł \$ しく変化 61 や、農業をとりまく
んのですが、最近農業の近代化 ご存 0 か 3 Ш ts 山県など 主な改正 て、農業の骨組を改善してらさきに農業基本法が制定 県などでは現在までは三町農地の最高制限面積は、富 農 2 いろな条件が著 たの 地法 農村の民主化と農民の は、 知 こうしたこ 0 してきまし です ように もこれにともなって 農業 一部を改正すること 点 0 生産 農 小を増生 農 地法 化い地 進 5 2 19 ちにうここと … 、、、 農地の権利 移動についてのこれらの法人にたいしては、できることになっています。何名、合資会社など四種類が組織としては農事組合法人、 農地 制限が るようになりました。 くろうということで、法人の が小さいので、 0 個人個人では、経営の規模 信 はずされています 部改正 託制 度 など 協業経営をつ 0 .方 3 うことができることになったけや売渡しの信託事業を行なた切なので、農協が農地の貸売ので、農協が農地の貸た切なので、農協が農地の貸たのためには、農 ません。めて承認をとらなければなり、震協に限り、信託の規定を決 の許可がいらないと これ 0 のです。 は信用事業を行なっ 農協で信託事業を行な そしてこのときは、 次に農地 は **農**地 を有効に利用 の信託制ですが いことにな τ 農 6. える 地法 する る `` 2

> たり、ま よう 損傷粒の混じるの 力」 物が混じらな しよう。 に、 ボ ゴ黒付着に常に注意して た、 -1 土砂や、 N 5 0 ように努力 を少 間隙 その 家を調 なく し他の 製 する L

年包 装

重量の均一を図りたい ようにして、 今 Ó 均一を図りたいものですして、包装の荷造りは、の出荷米は全部叺となる

ŕ			``
		・夏	
÷.		a.	
		の農	
	4-	rith .	8
	2	震	
	=	村	
	1	4.3	
ì	ブ	害	8
	-		÷.
	活	少	
1	and the	4	i
	劉	平	
i.	1-		1
	10		
	2		1
	-		
	5		
	-		
1	τ.		
	-	1.121	1.1
			i
•			1

競技には演示 審査、診断、判技 小競技がつきものです。技術 て行なわれるもので、これには 村青少年の学習活動の一環とし 定、 れます などの野 旅行や 0 組み立てられます。 知ら間に技術が身につく の形にしくんだもので、 れらは農業や生活の技術を競技 とし の興味をそそるように、 クリエー 夏の農村青少年ク 鑑定の競技があります。こ T が サ 外 1 ションだけでなく、 クラ 野外活 活動が盛んに行 クリ /ブ交換訪 ング 動は ラ 単なる 7 + 、ように 青 + 0) 「少年 るなン視レカプ察 行 農 事

がら実演する方法で誰れにも 術や仕事を参加者に説明しな した農業や生活についての技 解りやすいものです。 がら実演する方法で誰れ

0 とするものです。 少年たちの審査眼を高めよう べて比較審査するもので、 審査は例えば豚を四頭なら 青

0 です。 たら良い あってどう た稲株をみて、 診断は例えば病 いかを考えさせるものとういうふうに処置し これは何病で 気に D. か OL 2

0 てる方法などです 何度かと指を水田 な知識をもたせることをね 5 としたもので、 判 定は数や量に対す 田にいれてあることをねら

Q るる れは何である」と、 いろ ろいろの品物について「こ鑑定は農業や生活に関する 0 です 答えさせ

広報にゅうぜん

照 年372≈8月10 1 発行 第三 础 郵 便 物 認 可	広報にゅうぜん (4) 会がり四のさの らっれことの ど感 通賀はつのいと、ぎい次もも夏 ≡	
農 閑 期 に 休 養 を (農家への周知事項) ように に たわれたちかい に たわれたらかい に たわれたら かい に たわれたら かい に た の た の 周知事項)		
一部です。 一部では、 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一部です。 一目で、 一部です。 一目で、 一部です。 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で 一目で、 一目で、 一目で、 一目で、 一目で	中神佑 中 市 市 市 市 市 市 市 市	
ないない こう	t などの悪習も芽生えやすくなり などの悪習も芽生えやすくなり などの悪習も芽生えやすくなり などの悪習の引上げ	
世充休 ようを うらう 町出身戦歿者追悼法要 とき8月20日午后2時 ところ養照寺(入膳)	注渡なたのです。 このですたた。 たたま、たたにしのでたたした。 たたに、ののたたした。 たたに、ののたたした。 たたに、ののたたたた。 たたに、ののたたたた。 たたに、ののたたたた。 たたに、ののたたたた。 たたに、ののたたたた。 たたに、ののたたたた。 たたに、ののたたたた。 たたに、ののたたたた。 たたに、ののたたたた。 たたに、ののたたたた。 たたに、ののたたたた。 たたに、ののたたたた。 たたに、ののたたたた。 たたに、ののたたたた。 たたに、、ののの、たたで、 たたに、、ののの、たたで、 たたに、、ののの、たたで、 たたに、、、ののの、たたで、 たたに、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	日以上し竜喜皆は終射)受ける

昭和37年8月10日発行 第三種郵便物認可

〔第83回〕

慶

寺 3

略

緣

起

六本松の由来

次のように記され に当時の由来につう。 6. 3 六本わ る を 並 n T

消えうせるのではないかと恐懼 していた。ここに当寺第十世新 していた。ここに当寺第十世新 していた。 しかるにこの事が度々に及ん 上人は御長男でもあり、わけではないが、わけて、わけではないが、わけて、 T てい 人 とを嗣ぐことになった。 御 F 、柄で真 退隠に の御隠居とは、 人が いたのに、突然このたび強いい柄で真の善知識と尊敬せられ人は御長男でもあり、立派なけではないが、わけても教如 慶長年間 大閤秀吉公の ts り、 本願寺第十二代 弟 誠に御法脈も 和准如上人 愚か 尊 Z い方 があ 教如 より

越・能三国に嚴重な御觸れが廻 なようにさせよ、もし不承知の 「前田肥前守殿へ「其の方の にさせよ、もし不承知の なようにさせよ、もし不承知の たので、藩主前田公から加州大納 、各々死罪に処し、その上 で、藩主前田公からい下さい」 ながら一同本山へ帰敬いたは如何ともなりません。おした。このことは不肖私の)の力がだんだんうすくな)へ帰依尊敬し、本廟(★ 」な帰休尊敬し、本廟(★ わ 非 だので表方(本願寺) (阿茶丸)より六閤秀吉公へ、 さ 当 常に 寺 れたのである 何ともなりません。おそれ。このことは不肖私の力で 御憤慨なされ、 かだんだんうすくなりま依尊敬し、本廟(本願寺いま専ら裏方(御隠居所 興の祖新蔵(信蔵の幼 -越・能で 准如上人 たしま

名 4 ては -を恐察 非 御 -常に ふれ 及 び中 同郡生地 が出て 驚 L 3 たとえこの身々な
の、教如上人の御心 いることを知 の専念寺正秀 2

> た。(全国で六十三人であったやく二十三人を得たのみであっ うとする者は案外に少く、 H 忠義 げう 人はひそかにたずねてある ----れ 人たりとも同志を得ようと両 ども、 をつくそう っても粉骨砕身教如 身命をおしまず 竹 ノと覚悟を 内 慎 _ きめ 上人 郎 よう 働こ いた 12

った。しかし両人の忠勤の一った。しかし両人の忠勤の一所、召喚せられ、准如上人へ(ろけん)し、同国の富山御しかるに此の事が公儀に霞 翌六 ちか b. 志をかえる様子は少しもみえずは金剛の如く、信心無二に励み 御奉行前田対馬守 いう役人を派して両人を搦め取(三六五年前)服部弥左ェ門と そこでついに慶長二年七月四日 (三六五年前)服部 (ろけん) し、 わら)に 日 直ちに獄牢に投ぜら 富 Шi おいて打首 の板内河原 殿、 片 山伊賀れた翌 一がへ御露心が帰役顕 露

せ仰せ出されたので、ト で御見捨ていたされない という御家老を以って、 上げたので下間按密使決

れたので、よく身にいたされない旨を迎って、末々まで間接密使法橋了明

たのである。 らら板添す、 しし首)にかけた。 えてさら 寺中を焼き払 した。 to し、れ して そ 5 れの門()のみな しま 2

召され、

to

そ

0 有

上両 難い

人に対 おことば

ハして下賜 を賜わ

た。

通りである。

え追わ が察

た身の

思

親 あそばさ

そ

失 n

2

たば

い上を不びんに用きないの者はなりか、住所き

所者共

れ

品 品 7

マは、 品を下され

次

の通

`

赤

地金欄五条御袈裟

(教如

上人御自己 •

かげである。 かげである。 かけである。 かけであるのであ かけである。 かれに思われ、内々の御指図 いにも一命が助かったのであ いにも一命が助かったのであ でた。しかし御領主前田会は でしかし御領主前田会は た。 であるが、これを尋ね出していたの であ 新蔵はこのとき三十二才であ 新蔵はこのとき三十二才であ より来ていた よ が村字根 こ ていた た といわ たのである の命令であ 一公はあ た。 古屋 図に 幸

大幅御本尊

11御本尊一軸、た二品のほか教如-同唐鈔鑼(さ)

<u></u> 上 人 御 自

画

わ り

-,

如

上人御自 同千草

用

-欄

色金 用

御輪袈裟

(教

像御自

1画一軸:

軸を拝領した。以一軸、ならびに御一

上寿の

は幼年のことであり御辞退申しは幼年のことであり御辞退中しると仰せられたけれども、浄珍ると仰せられたけれども、浄珍の品々は今に至るまで大切に奠

0 尊

申浄であ

という。

う者は 前に b. 当村 新蔵の首 埋め 前記 の和田 T お 0 の板内河原田屋九郎右 いて墓標として を盗み、当寺の 喜び勇んで帰国したという。しみて有難く、かたじけなく、せ仰せ出されたので、よく身に

註1

根古屋善右ェ門の子孫は現住化分岐点(谷の入口)にあるの分岐点(谷の入口)にあること、姫川の支流根知川に接し、根古屋部落は小滝のに接し、根市屋部落は小滝の



前にしばらくさらすことになっ二人の首を引き渡し、同寺の門勝興寺(伏木の勝興寺)へ即日守殿の御両人より領内の古国府 た。 いしば らくさらすことにな

うものなり一という哥しているすべきこと斯くの如く行うけさすべきこと斯くの如く行 主へ御礼に下ったのを機会に、の下間少弐法印という者が御領、へ持参し、折から本山より家臣その後、勝興寺より金沢城下 主へ御礼に下の下間少弐法日 論 のみ 両 人 加能越三ヶ月中を引き廻わやせしめのため越中四郡は勿人の首を実検した上、「諸人

24 100 前 「日本方 東京など 龙林南 茂れにら根のおして分六本がい、 繁か本か今た

> 高札は次の通りである。 の板川河原に掲げられた獄門
> 2 慶長二年七月六日に富山

越中新 同

川郡青木村

生地浦

寺正新の秀蔵

<

しているという。

慶長二年七月

ねになり、亡父達の忠節を御威人を召し出され、くわしくお見 9 四月に教如上人より新蔵の 慶長五 年 中辰 亡 年の 誤

、国の坊主、御門徒は追々御当山 寺を創立せられた。それより三 徳川家康公」 σ f ある。 ~帰依し御尽力申し上げ国の坊主、御門徒は追々 1川家康公)の代となり、教其の後まもなく東照権現様 51

を御感 = 子か

えたのであると云っている。 、本松に栄 れよ 東本 教 様 へ の で で 。 、 れ に 東 本 教 様 へ なな国 いら中 大びに 写真 蓮寺の寺宝となっているとい 送らせた礼状(現在水橋町正 石本下間少弐法印を以って 下知をうけ不用ゆへかくの如此もの裏方へ所存を通じ本寺 おこなふ者也 5 5 七月五日

の命日が六日だから六本松木となった。世の人々は、

(5)広報にゅうぜん

第三種郵便物認可		ng ² = − − ₹		広報にゅうぜん (6)
		すのは、あぶないことです。ふりました。しかし、調子にのってスピードを出しすぎると、とんでもない事故を起すことがあります。 とくに町や村の中心街で一杯とくに町や村の中心街で一杯	すとなります。台風の中でないために、白風の中でなったのような空気のます。この場合がいために、のまたのです。この場合がいために、ののまでできるからです。この場響をうけて、この場響をうけて、この場響をうけて、	ズンが近づきました が近づいてきました が近づいてきました。 やってきて大波になった ものです。 直径知って生まれたゆ から、一四〇〇キョメートルぐらいのも のから、一四〇〇キョメー
般のご利用をねがっております。 たいでゴミの回収もスピード。ア これでゴミの回収もスピード。ア たたのれたわけです。 また便利なゴミ容器(硬質ポリエ また使利なゴミ容器(硬質ポリエ が東されたわけです。 たっておりますが、係では一 がした。この解決	場所となって折角の様な臭気を放ち、はにうず高く積まれた	イ 事故 イ 事故 べやら、非常な加速度がついて いるので、坂道や曲がり角で、 ちまったくゾッとします。 まできる安易さからか、非常に 転できる安易さからか、非常に します。 をまったく、軽	する一方、收穫期にあたる農 する一方、收穫期にあたる農 すから、台風情報によく注意 すから、台風情報によく注意	
toty エ が ア 32 掃 決 です エ が ア 32 掃 決	おめみえ	はおこさぬようにしましよう。 して、せめて自分で防げる事故 い昨今です。夏の夜の解放感も よいですが、運転には良く注意 して、せめて自分で防ぐために、曲	作物は、多少早目でもできるだ け収穫しておくことです。 また台風通過の時に、もしも ら土地がらを考えて、早目に避 することです。 りしが残暑かな 香 墨	() の () の () の () 点 は 昨 年 九 月 室 戸 合 風)
コレラの予防注射 町では、10日の期限で、コレラの予防注射希望者を募っています。 8月20日すぎごろに実施いたしますが、きまり次第お知らせします。 (実施した地区) 芦崎 1回 7月30日 2回 8月10日 400名 横山 1回 8月10日 2回 8月17日 80名	新米国すべて 「 「 「 「 「 「 に 、 次 は 動 か ず 奥 住 勇 重 大 十 年 代 の ツ 連 、 大 山 本 の 政 党 と 政 治 、 次 は 動 か ず 、 火 は 本 の 政 党 と 政 治 、 次 に 、 次 に し 本 の 政 党 と 政 治 本 男 一 二 ヵ 月 赤 堀 金 子 二 、 次 に 、 次 に 、 次 に 、 次 に 、 次 に 、 次 に 、 次 に 、 次 に 、 次 に 、 、 次 に 、 、 次 に 、 、 次 に 、 、 次 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	* の 強代 町 今 本の の 水 タ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ		レントゲン検診は レントゲン検診を受け ちれなかった人のために、八日 こ十一日午後一時から午後七時 こきに受けられなかった人け さきに受けられなかった人け

たさい。 中央公民 舘でレン 一時からたに、八月 トゲン検診を受け の納期です かず と政治 導きかた 月 つくり 級 行 < (実施した地区) 数 行 物 次 中 河 物 安清 象 中 河 加 公式 化 小 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 书 子 上 獅 和 聞 水 竹 山 、 田 辻 谷 字 上 獅 江 章 幾 山 本 社 中 村 宇 田 徹 子 正 太 太 道 洋 会 菊 太 吉 道 太 文 規 郎 郎 雄 一 雄 郎 郎 隆 郎 六 出来内 くり、日川不二郎 馬 遅 伯 よ 子 エ 嬉野満洲雄 7月30日 8月10日 升味準之輔 1回 2回 芦崎 400名 奥住喜重 内 山 赤 堀 金 子 横山 1回 8月10日 2回 8月17日 80名

The second second

で横すない

昭和37年7月10日発行